

## 一般会計の主な実施事業



### 【総務費】

交通安全及び防犯対策	609万円
広報おおひら発行	325万円
おおひらふるさと祭り	507万円
村民バス運行	2,756万円
総合計画等策定	667万円
公用車購入(1台)	115万円

### 【民生費】

万葉すくすく子育て医療費助成	3,352万円
児童手当支給	1億1,461万円
敬老会	798万円
児童館管理運営	2,120万円
子ども、子育て支援	2億5,012万円

### 【衛生費】

健康増進事業	129万円
予防接種	1,964万円
公立黒川病院運営	6,932万円
万葉のびのび子育て支援券助成	538万円
万葉のびのび子育て支援券普及促進助成	746万円
し尿処理	1,156万円
ごみ処理	8,570万円

### 【農林業費】

農業委員会費	668万円
農業振興補助費等	9,175万円
畜産振興補助費等	250万円
森林管理、林業振興	1,364万円
大綱用排水路整備	3,038万円
西沢用排水路整備	3,262万円

### 【商工費】

企業誘致及び雇用対策	4,694万円
おおひら万葉まつり	753万円
割増商品券発行	433万円

### 【土木費】

奥田大森線改良舗装	1億123万円
大瓜南側線改良舗装	1億3,275万円
尾西中山線改良舗装	1億7,699万円
尾西2号線改良舗装	1,880万円
五反田住宅1・2号棟改修	1億4,657万円
万葉の里・おおひら定住促進助成	6,950万円
公園維持管理	1億3,255万円
除雪・融雪	1,481万円
道路パトロール車購入(1台)	368万円

### 【消防費】

黒川消防署運営	1億1,257万円
大衡村消防団運営	1,830万円
小型動力ポンプ付軽積載車(1台)	503万円
災害対策	609万円

### 【教育費】

外国語指導助手(ALT)招致	499万円
給食センター管理運営	5,896万円
ふるさと美術館管理運営	944万円
大衡城青少年交流館管理運営	1,212万円
社会体育施設管理運営(西部球場、体育館、屋内運動場、プール他2施設)	2,753万円
おおひら万葉子ども園通園バス運行	355万円
スクールバス運行	787万円
小学校体育館改修	4,390万円
小学校備品購入	1,989万円
中学校校舎LED照明設置ほか	1,898万円
成人式	26万円
衡中北コミュニティ施設整備	421万円

### 【災害復旧費】

大衡村排水処理施設維持管理	9,447万円
明神揚水機維持管理	211万円

# 平成30年度一般会計決算報告

## 歳入

歳入総額は46億7,122万円で、前年度比で2億4,318万円(4.9%)の減少となりました。このうち村税や財産収入、繰入金等の使い道が自由な財源(自主財源)は21億3,957万円で、歳入全体の45.8%を占めました。

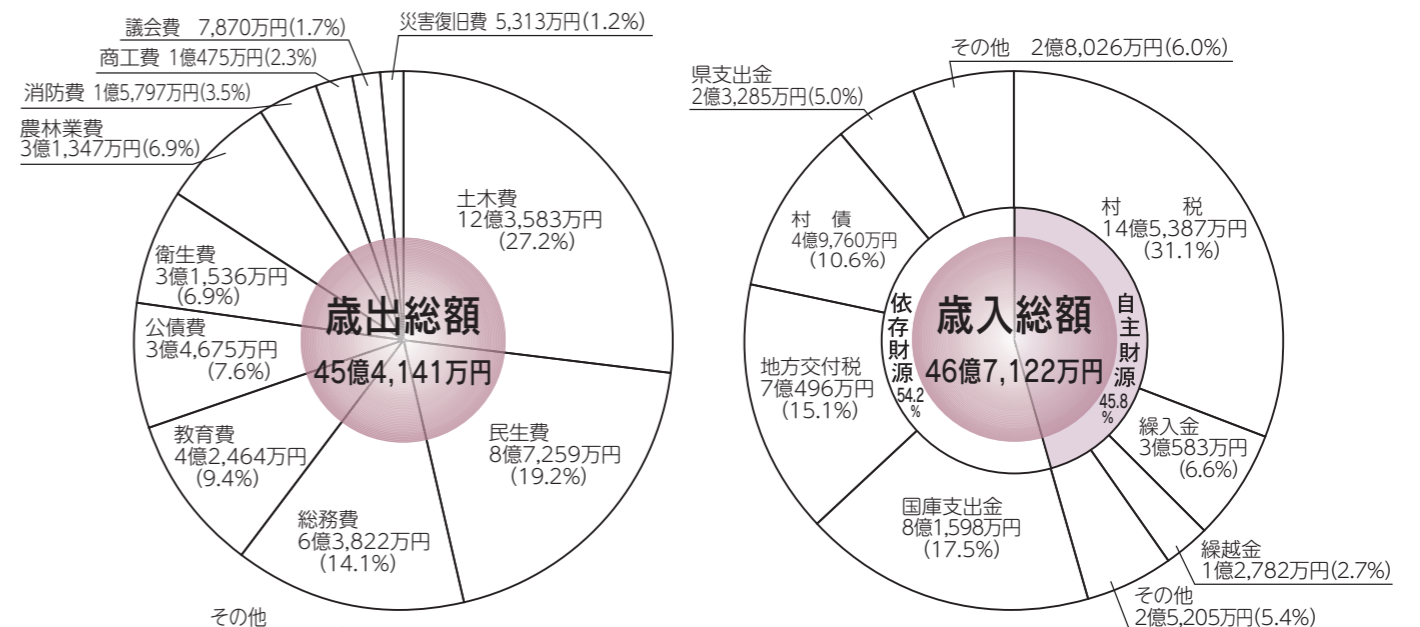
自主財源の大きな柱である村税は14億5,387万円で、前年度比で4,082万円(2.7%)の減少となりました。また、依存財源である地方交付税は7億496万円で、2億3,463万円(25.0%)の減少、国庫支出金は8億1,598万円で、1億8,331万円(29.0%)の増加となりました。

歳入全体としては、震災復興特別交付税がごみ焼却施設完成により減少、塩浪地区住宅団地整備(ときわ台南)事業の貸付金償還の減少が影響しました。

## 歳出

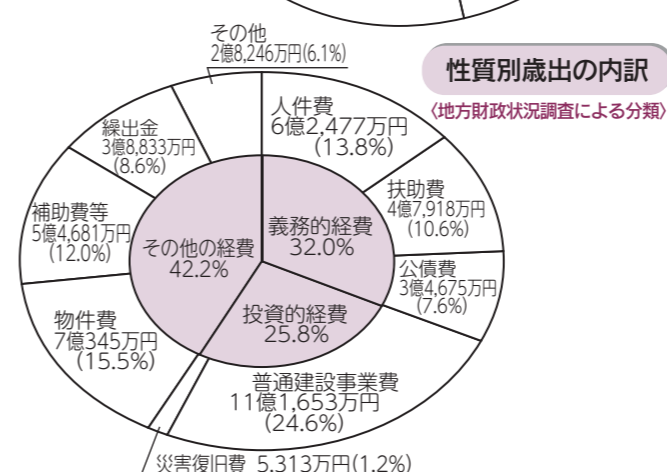
歳出総額は45億4,141万円で、前年度比で1億5,517万円(3.3%)の減少となりました。

主な事業は、奥田大森線改良舗装事業、大瓜南側線改良舗装事業、尾西中山線改良舗装事業、小学校体育館改修事業、五反田住宅1・2号棟改修事業などです。



### 性質別歳出の内訳

(地方財政状況調査による分類)



【依存財源のその他の主な内訳】	【自主財源のその他の主な内訳】
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方消費税交付金 1億6,670万円(3.6%)</li> <li>地方譲与税 4,816万円(1.0%)</li> <li>国有提供施設交付金 2,487万円(0.5%)</li> <li>ゴルフ場利用税交付金 1,617万円(0.3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財産収入 8,501万円(1.8%)</li> <li>使用料及び手数料 1億63万円(2.2%)</li> <li>諸収入 5,596万円(1.2%)</li> <li>寄附金 1,045万円(0.2%)</li> </ul>

村民1人当たりの行政経費	757,912円	平成31年3月31日現在	人口	5,992人							
議会費	13,134円	総務費	103,987円	民生費	145,625円	衛生費	52,630円	農林業費	52,314円	商工費	17,482円
土木費	206,247円	消防費	26,363円	教育費	70,868円	災害復旧費	8,867円	公債費	57,869円	諸支出金	2,526円

財政健全化法に基づき算定した健全化判断比率等については次のとおりです。

○平成30年度決算に基づく健全化判断比率(一般会計等)

指標	判断比率	備考
実質赤字比率	-	財政運営の深刻度を示すもの ※実質赤字額なし
連結実質赤字比率	-	財政運営の深刻度を示すもの ※実質赤字額なし
実質公債費比率	7.9%	資金繰りの危険度を示すもの ※基準25%未満
将来負担比率	-	今後の財政を圧迫する可能性を示すもの

○公営企業会計(水道事業会計、下水道事業特別会計、戸別合併処理浄化槽特別会計、宅地造成事業特別会計)において資金不足は発生していません。

- 人件費・・・議員や職員の報酬、給料、手当など
- 公債費・・・借入金の返済に充てる費用
- 扶助費・・・医療費の助成や児童手当など
- 普通建設事業費・・・道路や建物などの建設費や用地購入費など
- 物件費・・・賃金、旅費、需用費、交際費、委託料など
- 補助費等・・・負担金や補助金など
- 繰入金・・・特別会計等の運営助成経費

◎投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設費で、社会資本整備に要する経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費から構成  
 ◎義務的経費・・・支出が義務付けられ任意に節約できない経費で、極めて硬直性の強い人件費や扶助費、公債費から構成

